

あれから一週間…

あの時は
彼女として
接してくれ何て
言ってたくせに…

俺は相変わらず
男の姿のままで
エリナさんは
俺の事眼中にないようだ…

あくあつ
もっと女の子の
生活したいなあ…



はよろっ！
か〜ほ〜♡

今日も
相変わらず
かわいいね♡

なあに？
朝から変な事
言ってるw

何か
最近のエリナって
エリナじゃ
ないみたいw

だって
しょうがないじゃんっ
ホントに
可愛いんだもん♡

傍から見ると
可愛い女の子同士の
ユリ展開なのだけど…



チ○コ
立ってますよ…？
エリナさん

えっ？



付き合ってるなんて
つい願望が出ちゃった
感じかな…?

ああ…
くそっ

よっぽど夏帆さんの
ことが好きなのかい…

俺のち●こが
すっげえ悪さ
してんだろっな…

えっ?
ここでオニー
するのっ!?

ここじゃ
まずいって!

ビュッ

あ…
止めた…

うっわあ…
超モンモンと
してる…

あの感じだと…
寸止め状態だと…
思うんだけど…

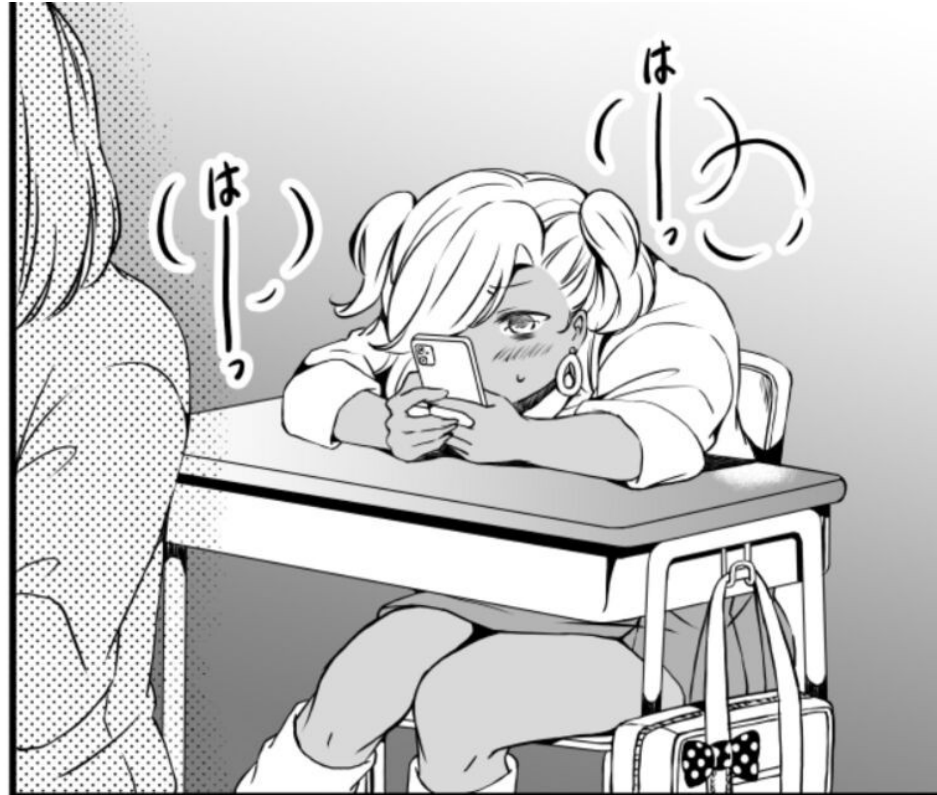
は…

は…

だっ
大丈夫かな…
エリナさん…

は…

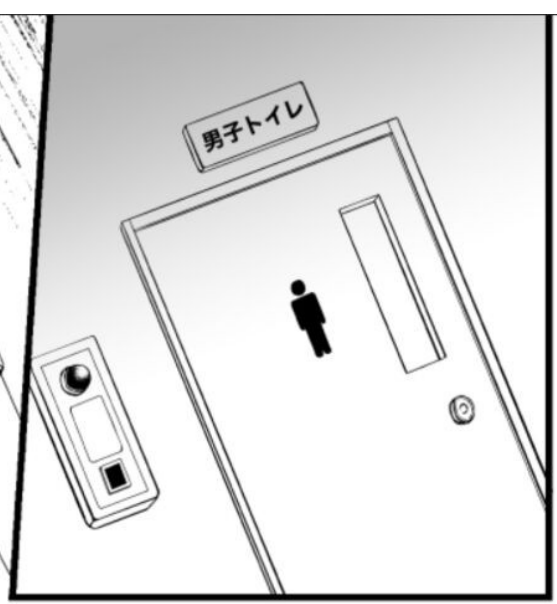


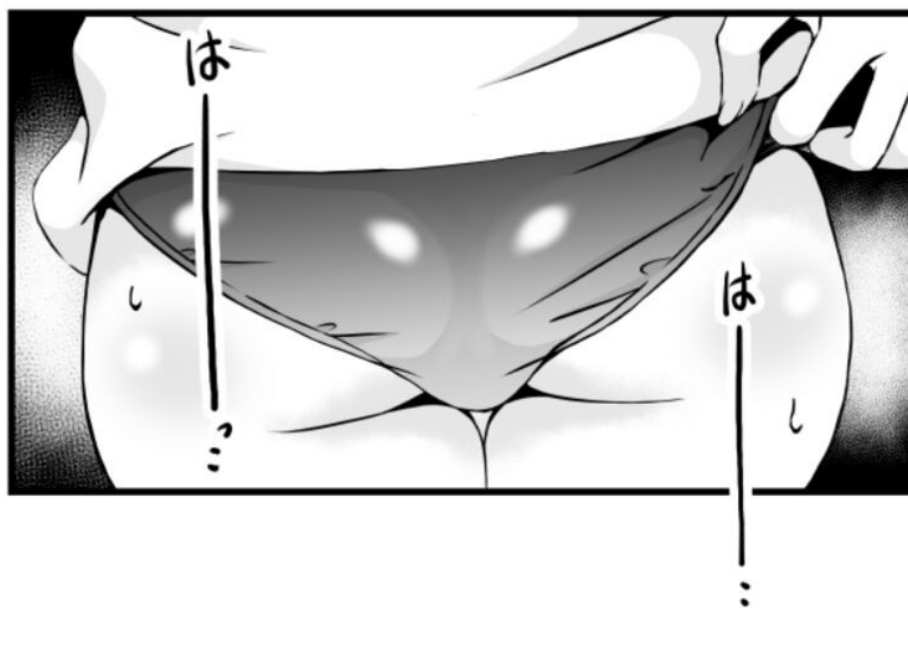
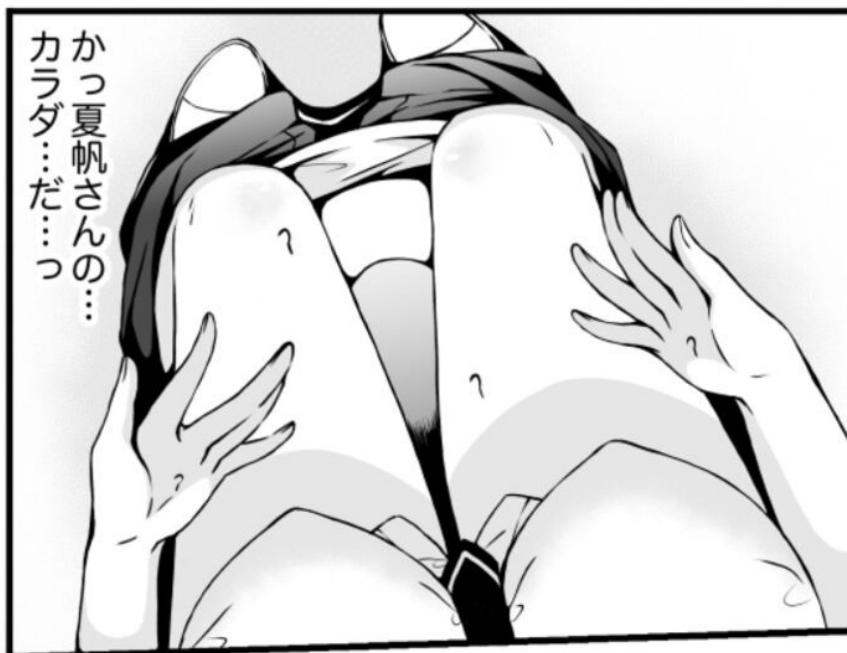


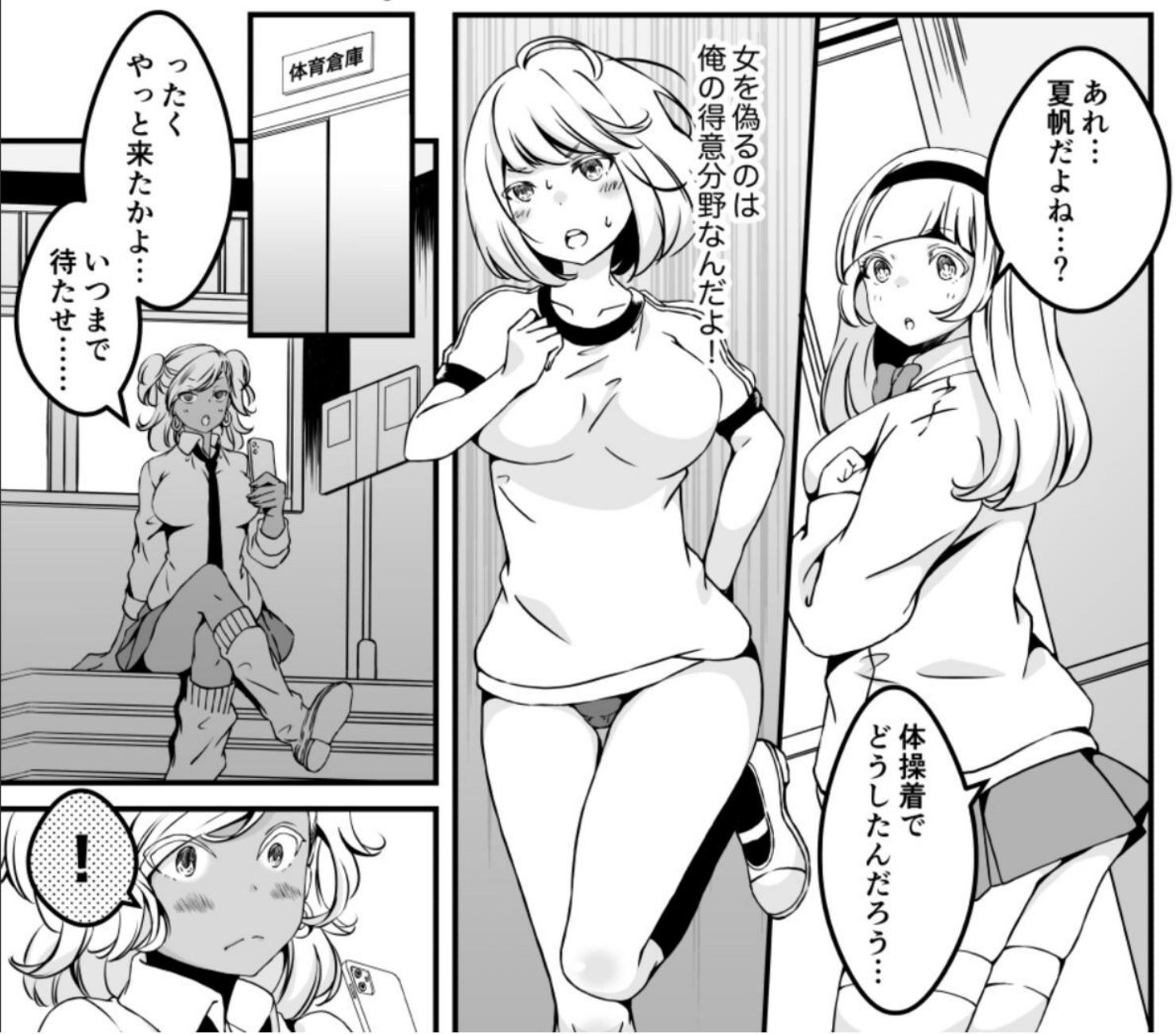
へっ！？

もうさっきからムラムラしちゃって
我慢ならないっつーの！
お前午後サボって夏帆に変身しろ！
分かったな！

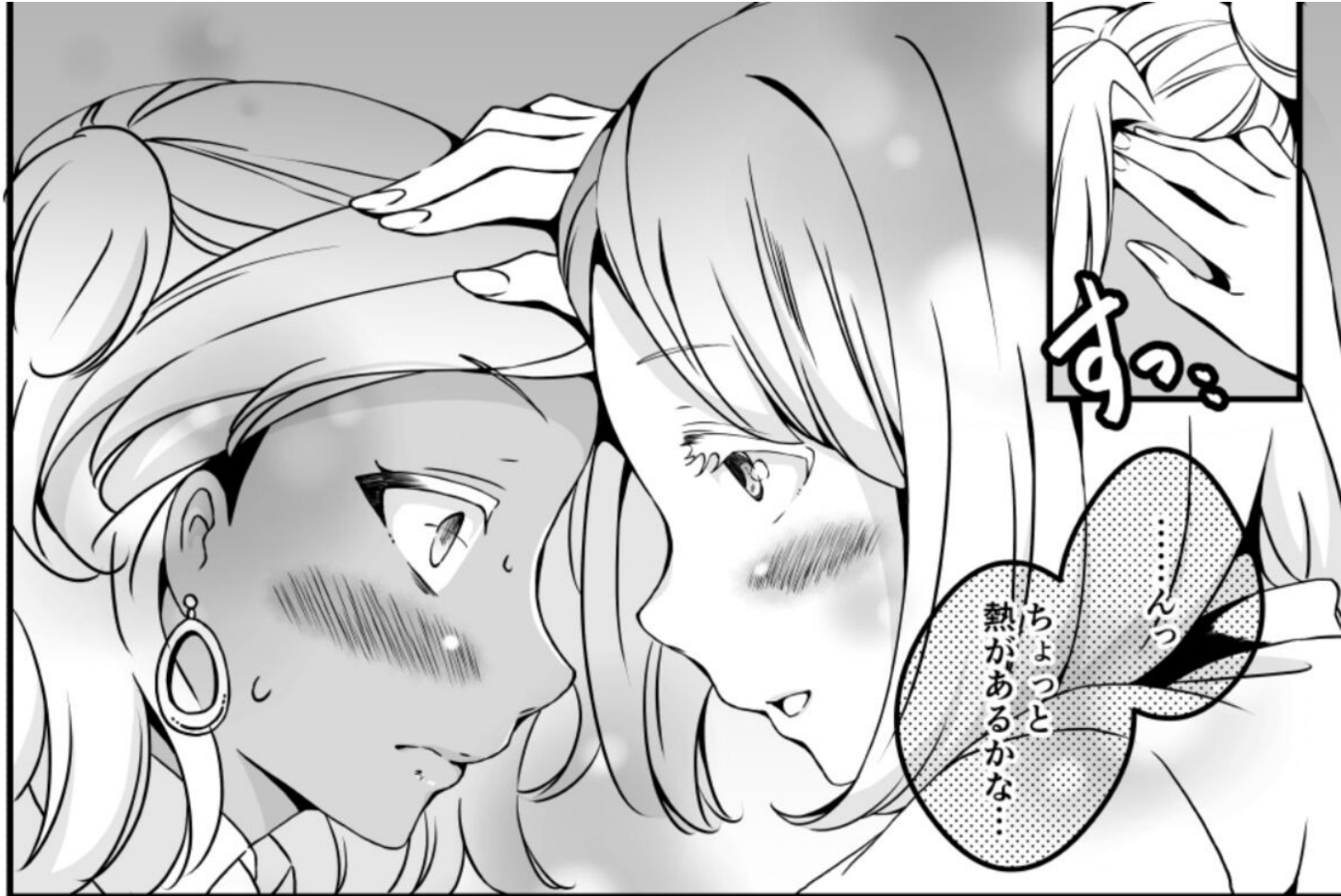






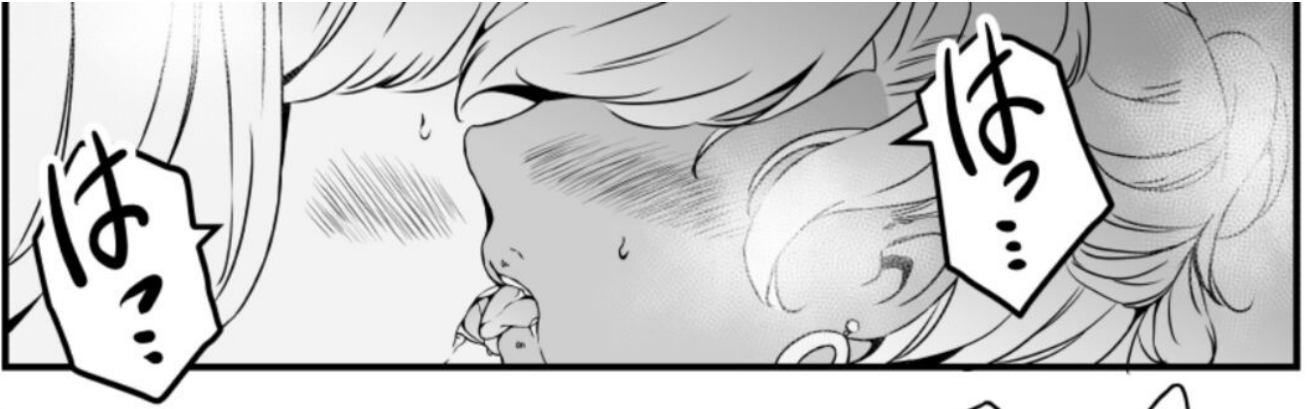
















どうしちゃったんだろう…
今日のアタシ…

思考が暴走しちゃって
止まらない…

目の前にいるのは
磯島だって分かってる…

分かってるんだけど
股間から邪な欲望が
湧き出ちゃって…

あ

あ

まるでチ○コが
アタシの体を
操ってるみたい…

アタシの中で
気持ちよさそうに
乱れている夏帆を
見ると嬉しくて
ゾクゾクして…

は

は

周りの事が
視界に入らないくらい
夏帆の事しか
考えられなくなる…

あ

あ

今ならレ○プや強姦で
捕まる男の気持ちが
分かるかもしれない…

本当にチ○コど脳みそが
直結しているようで
理性が吹っ飛んでしまう…

えりなあ…♡
あっ♡

はー♡
イッタ…
イッタ…から…
抜いて…よ…

夏帆の体が
小刻みに
痙攣している…

ちゃんと
気持ちよく
なってくれてる
のかな…

もう
ヤバいからあ…

ひっひっ
ひっひっひっ

あはっ♡

悦んでくれてる…♡
アタシのチ○コで
夏帆悦んでくれてる♡

じゃるる♡

ヤバいからあ…っ
お…うねが…ひい
抜いてえ…

中に射精^だして
あげたい…っ
アタシの子供
妊娠して欲しい…♡



はあ？
何で夏帆が
いんのよ！

え？

アンタさっき
管理棟の方で
私とぶつかったよね？

急いで体育館の方
行っと思ったのに
何で私より速く
教室にいんのよ！

それにいつの間に
体操着から制服に
着替えてんのよ！

ちょ……っ
アタシ
ずっとここに
いたけど……？

それに
体操着なんて
着替えてな……

あっ！

ねえ
そのぶつかった人
どんな感じの
人だった！？

体操着を着た
アンタそのもの
だったんだけど？

まさか私が
間違えたと言うわけ？

絶対
あの人だ！

追試の時
助けてくれた
あの人だ！

アタシと
そっくりなんて
一体どんな
人だろう……

会ってみたい……

……どっ
どんな人って……



数日後…



夏帆からのお願いなんだけど
明日急用ができちゃって
バイトに行けなくなったって。

代わりにアンタにバイト
行ってもらいたいらしいけど
いける？



どうしたんだろう…

エリナさんからだ…

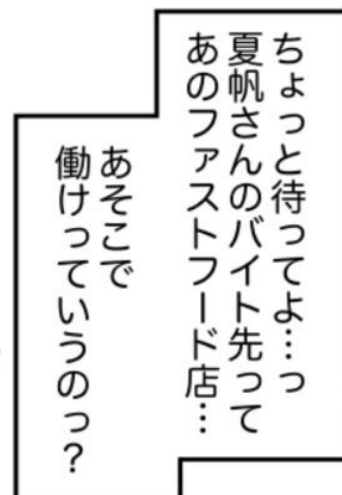


憧れの…
制服を着て…



俺が…
夏帆さんの姿で

あのかわいい
制服を着て…



ちよっと待ってよ…っ
夏帆さんのバイト先って
あのファストフード店…
あそこで
働けっていうのっ？





さっきのお姉さん
すっごく美人だったな♡
いつかあんな美人に
なってみたいな♡

は——…

ああ…
いい匂い…♡
柔軟剤の匂いかな…

♡ちゅ♡
♡ちゅ♡



おっと
射精しちゃうと
完全に夏帆さんになっちゃうしっ
今はこれくらいにしておこw

こっちは
肉体労働するんだし
これくらいのも
ご褒美貰わないとね

は——…

っていうか
ち○こがあるだけで
こんなにヤバイ事
考えるなんてやっぱ
俺のち○こが
諸悪の根源じゃんw



昨日の夜は
接客マニュアルを
熟読して暗記までしたし
専門用語も覚えたりっ！

俺の記憶力と
臨機応変に対応する

柔軟性を見繕るんじゃないぞ！

さあ
ユートピアへの
扉が今開かれる！

おまたしえ
ひましたあ♡

はんびやーがー
セットに
なりましゅ♡



やべーっ
超緊張して
回が回らないっ！

いくらレジ回り
完璧に覚えたって
対人スキルが
皆無の俺には
辛すぎる…っ



あの…
注文いいですか？



なんだコイツ…
気持ち悪い顔して
どこ見てんだよ…



び…っ
ビックハンバーガーを
二つ…それと…
ウーロン茶…っ

ああ…
俺の胸元を見てるんか…w
まあ今の俺は最強に
可愛いからなw

残念だが
お前の見ているのは
男の偽乳だっw

一緒に
ポテトも
いかがですか♡



俺の事まだ
見てるかな…♡

俺の事
女の子と思って
イヤらしい目で
視姦してるのかな…♡



もつと女の子らしく
振る舞って
可愛いを
アピールしなきゃ…♡

やっぱ…っ
超興奮する♡



チ○コに制服が擦れて
余計気持ちよく
なってきた…w

イッちゃったら
元も子もないから
ゆっくり動いて
我慢しなくちゃ♡

あ…お待たせ…
んっ
しましたあ♡

ご注文の
お品になります…♡

初々しくて
可愛かったな…♡

また
来よう…♡

意識しすぎて
余計に気持ちよく
なっちゃった♡

最後まで
持つんかなw
俺w

あっあの!
すみませんっ

はい♪
お客様っ











えっと…
さっきも言ったけど
言いたくないですし…

特殊メイクで
そっくりにした
ということに
していただけますか？

ああ
あれね…w

貴方の血液型とか
調べて…
変装するための
特殊メイク
作ったの…w

ああもう
帰りたいっ

でも替え玉する時
アタシの血が欲しいとか
言っちゃったよね

あの血とか
何に使ったん
ですか？

うっわ…
痛いところ…



ああもう！
はぐらかさないで下さい！

あの血を使って
アタシに変身して
たんですよ！

どうなんですか！

えっと…
急に大きな声出して
ごめんなさい…
どうしても
はっきりさせたくて…

実はアタシ…
他人には言えないけど…
昔から魔法少女とか
そういうの大好きで…

変身願望とかあって
できればアオイさんが
変身している所
見たいんです！

ごめんなさい
ごめんなさい！ああ
もう許して！

はい？

今日の事は
誰にも話しませんし
秘密にします

だから…その…
本当の事を
話してください…

ヤバい…
何かしら
理由を言わないと
納得してくれないぞ…

嘘を付いてでも
なんとかこの場を
乗り切らないと…

えっとね…
つらい過去があったから
本当は話したく
なかったんだけど…

貴女のいう通り
私は他人の血を取り込む
ことによって
体が変わる体質なの…

詳しくは
言えないんだけど…

私昔からこんな
体質だからみんなに
気持ち悪がられたりさっ

だからね…
お友達になりたいって
お願い…
叶えられそうにないの…
ごめんね…っ

うわあ！

つらい思い
されたんですね！

今日からは
アタシを頼って
くださいっ

えっ！？

もうこれで
私たちは秘密を
共有した仲です！

今日は家に
泊まっていつて
下さい！

もっと
貴女の事が
知りたいから！

えーっ！？



何で俺：
こんなことに
なってるのかな...

楽しく
バイトしてた
だけなのに...



でも：
このままいけば
何となく
丸く収まる気がする...

連絡先とか
教えなければ
いいだけだし...



ああ...
寝姿もやっぱり
かわいいな...
夏帆さん

学校では俺の事
バカにしたような
感じでしか
接してなかったから

あんなに
感情を表に出して
話している所なんて
初めて見た...



っていうか
俺も夏帆さんの
姿だった！

やば...何か
興奮してきた...







もう嘘を
吐き通す
しかない!



私…夜になると
今まで変身してきた
人たちの血が
出てきちゃうの…

「血」を安定させるには
自慰をしてホルモンを
安定させなきゃ
いけないけど…

そんなとこ…
見たくないでしょ…?



えっ!?

何でアオイさんが
磯島の姿に…?



ちよっ
寝てたんじゃ
なかったの?!



えっと…
もしよかったら
アタシ…しようか…?

こういうの
初めてだから
ちゃんとできるか
分からないけど…



じ…じい?
って…

おっ
おな…



アオイさんが
困ってる…

原因はアタシが
強引に泊ませたこと…
アタシが何とか
してあげないと…